

## 令和2年度第1回守谷市補助金等審議会会議録

1 期日等 書面による協議（7/22～8/17）

2 委 員

会 長 江幡 俊文

副会長 栗野 淳一

委 員 白方 操

委 員 山澤 成實

委 員 桜田 陽子

3 事務局 財政課

4 議 題

### 【報告事項】

（1）令和元年度守谷市補助金等事業実績報告について

（2）令和2年度守谷市補助金等事業交付決定内容について

### 【諮問事項】

（1）令和2年度守谷市補助金等事業変更申請について

（2）令和2年度守谷市補助金等事業追加申請について

### 【協議事項】

（1）令和2年度守谷市補助金等審議会開催日程について

5 議事内容（要旨）

### 【報告事項】

（1）令和元年度守谷市補助金等事業実績報告について

| 当初決定額      | 最終決定額 ①    | 精算額 ②      | 差額（①－②）    |
|------------|------------|------------|------------|
| 384,597 千円 | 770,601 千円 | 295,669 千円 | 474,932 千円 |

◇ 計 66 事業のうち、58 事業が継続事業、39 事業が市事業

差額（①－②）のうち、409,830 千円は令和2年度に繰越されている。

〔繰り越された事業〕

No. 63 民間保育所施設整備補助金（372,002 千円）

No. 65 強い農業・担い手づくり総合支援交付金（24,828 千円）

No. 66 感染拡大防止補助金（13,000 千円）

◇ 令和元年度実績報告に対し、委員から以下のような意見があった。

・No. 8 地域の魅力づくり、市施策誘導事業、広報情報、まちづくり、地方創生等補助金

→成果が向上していることは理解したが、集客の増加を実数で示してほしい。また、補助金に対するコストパフォーマンスはどうか。

・No. 16・17 地域改善対策啓発推進事業補助金

→事業の内容を再考してほしい。

- No. 20 市民公益活動団体助成金

→交付団体が多くない。上限の額を変更する等により、制度を有効に活用できないか。

- No. 27～29 民生委員児童委員協議会補助金

→委員の負担を減らすために、市の金銭的負担を多くしてでも、制度を守っていくための協力が必要である。

- 全般的事項

→継続事業は、会運営の適正を確保するため、会計、監査員を設置するなどして、複数の目を通すようにするべきである。

## (2) 令和2年度守谷市補助金等事業交付決定内容について

| 答申額 ①        | 交付決定額 ②      | 差額 (②－①)    |
|--------------|--------------|-------------|
| 1,344,212 千円 | 1,140,834 千円 | △203,378 千円 |

◇ 計 62 事業のうち、57 事業が継続事業、35 事業が市事業

◇ 交付決定額ベースでは、民間保育所施設整備補助金の皆増等により、令和元年度と比較して約 7 億 5,600 万円の増額になっている。

◇ 答申後に追加申請を行った事業

- No. 57 有害鳥獣対策補助金

有害鳥獣を駆除できるハンターを増やすため、狩猟免許の取得費用を補助する。

- No. 58 空き家等活用コミュニティ推進事業助成金

自治会・町内会が空き家等を借り上げてコミュニティサロンを開設する事業に対し、助成金を交付する。

- No. 59 地域活動のための施設等使用料助成金

地域で集会施設を有しない住民組織が、身近で気軽に集まることのできる場所を確保するため、施設使用料の一部を助成する。

- No. 60 母子保健ガイドブック作成費補助金

先輩ママ目線による医療機関やお産に関する情報のガイドブック作成費用を補助する。

- No. 61 英語検定料補助金

市内小中学生の学習意欲の向上と保護者の経済的負担を軽減するため、英語検定料を助成する。

- No. 62 コミュニティ助成事業補助金（地域防災組織育成事業）

災害に強い安全な地域社会を作るために、住民が自主的に行う自主防災組織の活動を補助する（全額自治総合センターコミュニティ助成金）。

◇ 令和2年度交付事業に対し、委員から以下のような意見があった。

- ・No. 25 防災士育成事業補助金  
→応募者が少ないため、事業を見直してもよいのでは。
- ・No. 58 空き家等活用コミュニティ推進事業助成金  
→年間負担額に問題はないか。市内であつても地域によって家賃に差があると思われるため、公平な運用を行ってほしい。
- ・No. 59 地域活動のための施設等使用料助成金  
→利用者（団体）基準の明確化が必要である。
- ・No. 60 母子保健ガイドブック作成費補助金  
→行政が行うべき事業ではないか。
- ・No. 61 英語検定料補助金  
→事業の意図が分かりづらい。保護者が理解できるように、周知を工夫してほしい。

### 【諮問事項】

#### （１）令和２年度守谷市補助金等事業変更申請について

##### ア 審議会のスケジュール上、交付決定後の報告となる事業

- ・No. 11 経営所得安定対策等推進事業費補助金 104 千円の増額  
茨城県経営所得安定対策等推進事業費補助金の交付内示額が当初予定していた金額よりも多かったことによる増額である。

##### イ 交付決定前の事業

- ・No. 42 守谷市単位シニアクラブ助成事業補助金 38 千円の増額  
令和２年 10 月に 1 クラブが新設されることによる増額である。協議の結果、異議なく承認された。
- ・No. 53 守谷ハーフマラソン補助金 事業内容の変更  
新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴い、通常開催を中止し、オンラインマラソン開催に変更するものである。協議の結果、異議なく承認されたが、委員から、次年度以降も継続する場合は、事業の目的を達成するために、取組に工夫の余地があると思われるので、検討していただきたいとの要望があつた。

#### （２）令和２年度守谷市補助金等事業追加申請について

##### ア 審議会のスケジュール上、交付決定後の報告となる事業

- ・No. 63 特別定額給付金給付事業 6,900,000 千円  
令和２年 4 月 20 日閣議決定の「新型コロナウイルス感染症緊急経済対策」に基づき、特別定額給付金を給付する（全額国費）。
- ・No. 64 感染拡大防止補助金 2,000 千円  
市内の私立保育所、幼保連携型認定こども園、小規模保育事業、家庭的保育事業において、新型コロナウイルス感染症対策として購入する備

品や消耗品の購入を補助する（全額国費）。

- No. 65 子育て世帯臨時特別給付金 94,000 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校の臨時休業等で生活費が増加した児童手当受給世帯に対し、給付金を支給する（全額国費）。

- No. 66 子育て王国ひとり親家庭応援給付金 15,900 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校の臨時休業等で生活費が増加した児童扶養手当を受給するひとり親家庭に対し、給付金を支給する【市単独事業】。

- No. 67 子育て王国子育て世帯応援給付金 135,000 千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、小中学校の臨時休業等で生活費が増加した子育て世帯に対し、国の「子育て世帯臨時特別給付金」に加えて、市独自の給付金を支給する【市単独事業】。

委員から、一律の給付ではなく、より影響の多い家庭への配布などを検討してもよかったのではとの意見があった。

- No. 68 超音波式加湿器購入補助金 11,328 千円

市内の民間保育所等に対し、公共施設で配布する次亜塩素酸水を活用できる超音波式加湿器の購入費用を補助する【市単独事業】。

- No. 69 ひとり親世帯臨時特別給付金 51,890 千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得者のひとり親世帯に対し、給付金を支給する（全額国費）。

- No. 70 地域交通支援事業費補助金 9,900 千円

新型コロナウイルス感染症により利用者が減少しているバス事業者やタクシー事業者等に対し、事業継続を支援するため、支援金を交付する【市単独事業】。

※すべて新型コロナウイルス感染症対策関係の事業。なお、No. 68 は議会での付帯決議を受けて、事業の執行を見合わせている。

#### イ 交付決定前の事業

- No. 71 地域医療介護総合確保基金事業 96,485 千円

本事業は、茨城県地域医療介護総合確保基金事業補助金（介護施設等の整備に関する事業）を活用し、老人福祉施設の開設を支援するものである（全額県費）。協議の結果、異議なく承認された。

#### 【協議事項】

- (1) 令和2年度守谷市補助金等審議会開催日程について

協議の結果、第2回は9月30日(水)午後1時30分からと決定した。

第3回以降の開催日程については、次回以降に決定する。

以上